

地域における新たな「つながりづくり」を考える

——豊かな地域社会の実現に向けて——

開催趣旨

私たちが互いのくらしといのちを支える基本的な生活の場としての「地域社会」は、グローバル化のうねりや少子高齢化などを背景に、急速に疲弊・衰退している。他方、地域社会の再生・振興に向け、各地のNPO、地縁組織、行政機関、企業など、さまざまな担い手が、地域における課題の解決に取り組み、着実に成果を挙げ始めている。

地域の多様な課題に対して、それらを継続的に解決していくためには、専門分野に特化したNPOや行政、企業などがバラバラに活動するのではなく、これらの組織が地域のなかで連携し、得意分野を生かしながら、互いに補完・支援する「つながり」をつくり、その地域の力が総合的に発揮されるように努めることが、きわめて重要である。

一般に、市民団体やNPOは、その機動力、即時性、専門性が強みであるが、その一方で、他の団体とあまり連携しない、唯我独尊の性格が見られる。また、行政サイドにおいても、民は信頼足らずとの思いがまだまだ強く、官民協働には至っていない場合や、補助金を出したり、委託を行ったりすることが協働であると勘違いし、連携・協働が形骸化している場合が少なくない。

「ソーシャル・キャピタル」という言葉が注目されている。人々の絆を土台に、新しい規範、価値、信頼など、コミュニティ形成を促進する人間関係資本・社会関係資本を指す言葉だが、改めて、人々のつながりや信頼に焦点が当てられつつある。地域社会には、たくさんの資源（志源）が埋もれている。ただの石ころだと思っていたものが実はすばらしい宝物だと気づく。それらを発見し、力を引き出し、地域の新たな活力とするためには、ソーシャル・キャピタルの醸成が鍵となるが、それは連携や協働の場づくりを通じて進んでいくと考えられる。

地域社会のさまざまな担い手が、それぞれの役割を再認識し、実際に行動に移していくため、新たな連携・協働・ネットワークのモデルの模索という視点から、本シンポジウムを開催する。

日時

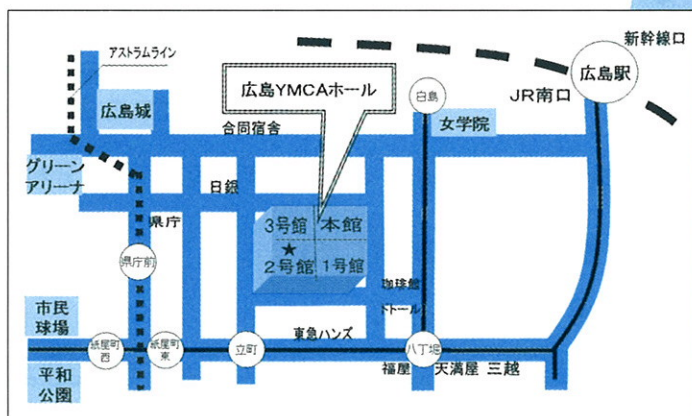
2009年6月27日(土)
13:00~17:25

会場

広島YMCAホール
2号館 コンベンションホール
(広島市八丁堀 7-1/082-227-6816)

参加費

無 料



【主催】 財団法人トヨタ財団 / 特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

【協力】 やまぐち県民活動支援センター / 特定非営利活動法人岡山NPOセンター
財団法人ふるさと島根定住財団 / とっとりNPOネットワーク

◎ 申し込みは、裏面用紙をご記入の上、FAXで送信いただくか、郵送・E-mailでご送付ください。
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 〒730-0013 広島市中区八丁堀 3-1 幟会館 2階
TEL 082-511-3180 FAX 082-511-3179 E-mail info@npoc.or.jp

<< プログラム (予定) >>

1. 開会挨拶・趣旨説明 (13:00~13:20) トヨタ財団、ひろしまNPOセンター

2. オープニング・フォーラム (13:20~15:00)

「地域を変える『つながり』とは何か——多様な視点から考える——」

地域社会の再生・振興を実現する連携・協働とは、果たしてどのようなものか。さまざまな担い手が、それぞれの立場における見方を示し、現状における課題や、その解決の手法について議論する。

- コーディネーター：塚本 俊明 (広島大学地域連携センター・副センター長)
- パネリスト：
 - 安藤 周治 (ひろしまNPOセンター・代表理事)
 - 大江 和彦 (島根県海士町役場・産業創出課課長)
 - 中村 俊郎 (中村ブレイス株式会社・代表取締役社長)
 - 山城 滋 (中国新聞社・論説主幹)

3. 分科会 (15:15~16:40)

分科会1「人づくり——地域で人を育てる、地域と人をつなぐ——」 (本館 406)

地域の最も重要な資源であり、連携・協働の主体となるのは「人」である。地域の人々の地域理解・参加は、どのように促進されるのか。また、地域づくりの担い手は、どのように育成されるのか。

- コーディネーター：小川 孝雄 (岡山NPOセンター・専務理事)
- 事例報告者：
 - 井上 将太 (高知大学農学部・学生、高知県)
 - 田中 玄洋 (NPO法人学生人材バンク・代表理事、鳥取県)
 - 村田 民雄 (NPO法人e & g 研究所・理事、広島県)

分科会2「場づくり——出会いとつながりを生む新たなコミュニティづくりの可能性——」 (本館 407)

具体的な連携や協働の「場づくり」の試みは、すでに各地でなされている。連携や協働を「形」にとどめることなく、着実に進展させていく上での課題について、具体的に検証する。

- コーディネーター：後藤 昇 (広島大学大学院社会科学部研究科・客員教授)
- 事例報告者：
 - 大崎 義男 (NPO法人おのみちアートコミュニケーション・理事長、広島県)
 - 豊田 雅子 (NPO法人尾道空き家再生プロジェクト・代表、広島県)
 - 松居 秀子 (NPO法人鞆まちづくり工房・代表理事、広島県)

分科会3「仕事づくり——つながりから生まれる地域資源の発見・活用——」 (本館 408)

さまざまな資源を活かした「仕事づくり」も、地域の活性化のためには重要。特に、中山間地や離島の多い中国地方においては、喫緊の課題と言える。単なる利潤追求でない、新しい働き方を模索する。

- コーディネーター：於土井豊昭 (防府市地域協働支援センター・センター長)
- 事例報告者：
 - 加藤せい子 (NPO法人吉備野工房ちみち・代表理事、岡山県)
 - 後藤 隆志 (島根県海士町役場・地産地商課ものづくり担当、島根県)
 - 小林 清 (NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会・副理事長、鳥取県)

分科会報告とまとめ (16:50~17:20) 分科会コーディネーターによる報告、コメント

4. 閉会挨拶 (17:20~17:25) 中村 隆行 (ひろしまNPOセンター・統括責任者)

◆ 交流会 (17:30~)

トヨタ財団 2009 年度地域社会プログラム シンポジウム 申込書

FAX:082-511-3179

氏名			
所属団体など	(役職名)		
ご住所	〒	—	
<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> その他()			

ご記入いただいた個人情報は、参加申込者への連絡・セミナー実施に関する事務遂行においてのみ使用します。